

編集後記

本書は、監修者である飯島武次先生の早期秦文化に対する JSPS 科研費 (16K03174) による研究を出発点とするものである。本シンポジウムはその成果をうけて、秦文化の形成に関する最新の考古学的考察を、日中両国の考古学者の視点から行ったものであり、両国の継続的な学術交流のもと実現した。

中国では改革開放後、外国人研究者もフィールド調査を実施できるようになった。我々日本人考古学者が一次資料にアクセスし活用できるという今日の研究上の前提は、日中の研究者の学術交流と相互努力の蓄積なしには実現しなかったであろう。そのような中、飯島先生が中国考古学界で果たした役割は大きい。先生は、我々が生まれたばかりの 1976 年にはすでに中国での調査を始め、このたび喜寿を迎えられた。駒澤大学への奉職後、2001 年に始まった日中共同調査はすでに 20 年以上を経、現在まで継続的に行われている。その間、陝西省考古研究院、北京大学考古文博学院、中国社会科学院考古研究所や甘肅省文物考古研究所が実施する発掘調査に参加してきた。日本側からは酒井清治・設楽博己・寺前直人・石井仁・西江清高・鈴木敦・渡部展也らの研究者が、中国側からは焦南峰・趙輝・劉緒・趙化成・徐天進・王占奎・王輝・雷興山・付仲楊・宋江寧・梁雲・秦嶺・張海といった研究者が参加する国際的な共同研究であり、調査に参加した日中の学生間の交流を育みながら今日に至っている。

本書の編集者・翻訳者らはこれらの中国調査に、当時大学院生として参加した面々である。また中国側発表者の曹龍氏は、我々がはじめて参加した漢陽陵邑調査の現場担当者であった。こうした飯島先生を始めとする諸先生方の日中共同調査がつかない縁が起点となり、現在の我々世代の調査・研究の進展に大きく寄与している。

監修者の飯島武次先生には、本書の刊行に至るまで様々なご指導をいただいたことにたいし、御礼申し上げますとともに、今後もますますご壮健で過ごされ、引き続きご指導をいただけますようお願い申し上げます。

2021 年 6 月

編者一同

编者后记

本书是由饭岛武次先生负责的早期秦文化研究项目（JSPS 科研项目（课题编号 16K03174））的研究成果为基础。本次国际研讨会则是汇集了此项目的研究成果，从中日两国考古学家的角度，对秦文化形成的最新考古学思考进行了探讨，并促进了两国学者间学术交流。

自从中国改革开放以后，外国研究者也能够在中国进行实地调查了。本研究之所以能取得今天的成果，是以日本考古学者可以获取和利用中国的第一手资料为前提的，也与日中两国研究人员之间持续不断的学术交流和共同努力是分不开的。其中饭岛武次教授毫无疑问发挥了最为重要的作用。从我们刚出生的 1976 年起，他就在中国开始了他的研究，最近刚好迎来了他的七十七岁喜寿。日中联合调查于 2001 年饭岛先生任职驹泽大学后开始，至今已进行了 20 多年。在此期间，他先后参与了与陕西省考古研究院、北京大学考古文博学院、中国社会科学院考古研究所和甘肃省文物考古研究所实施的考古发掘工作。参与此国际合作研究项目的人员，日本方面有酒井清治、设乐博己、寺前直人、石井仁、西江清高、铃木敦、渡部展也等，中国方面有焦南峰、赵辉、刘绪、赵化成、徐天进、王占奎、王辉、雷兴山、付仲杨、宋江宁、梁云、秦岭、张海等，同时此项目也促进了参与调查的日中学生之间的交流，这种交流一直持续到今天。

本书的编辑和翻译者们都是参加过中国实地调查的当年的研究生们。这次探讨会演讲者之一的曹龙先生就是我们当年第一次调查汉阳陵邑时的工地负责人。在以饭岛先生为代表的各位前辈的努力下，使我们有缘聚到了一起，并让我们这一代人接过了这一共同研究的接力棒，将这一研究继续下去。

特别感谢饭岛武次先生的指导和为本书的出版所付出的贡献。也祝先生身体健康，继续给我们鞭策与指导。

2021 年 6 月

全体编辑

CONTENTS

| | |
|---|-----|
| Preface · · · · · | 12 |
| The Pottery of the Early Qin Culture · · · · · | 14 |
| IIJIMA Taketsugu (Toyo Bunko&Komazawa University) | |
| The New Opinions on the Reserches on the Tumuli of the Imperial Mausoleums of the Qin and Han Dynasty · · · · · | 38 |
| JIAO Nanfeng (Shaanxi Academy of Archaeology) | |
| On the Origins and Formation of Early Qin Culture · · · · · | 50 |
| LIANG Yun (Northwest University) | |
| The Capital City Sites of Qin People · · · · · | 86 |
| KAKUDO Ryosuke (Komazawa University) | |
| The Qin Burial System from the Perspective of the Bronze-Imitated Pottery Ritual Vessels · · · · · | 94 |
| OBINATA Ichiro (Kokugakuin University) | |
| Beginning of Production of Bronze Vessels in the Qin State · · · · · | 102 |
| SUZUKI Mai (The University of Tokyo) | |
| Study on Pottery Oxcart Models Unearthed from the Jingwei Cemetery of the Qin State · | 110 |
| CAO Long (Shaanxi Academy of Archaeology) | |
| The Real Image of the Qin Horses · · · · · | 124 |
| KIKUCHI Hiroki (The Graduate University for Advanced Studies&Lanzhou University) | |
| The Pottery of the Xirong Culture · · · · · | 132 |
| TABATA Jun (Aichi Prefectural Ceramic Museum) | |

秦の淵源—秦文化研究の最前線—

秦之淵源：秦文化研究最前線

2021（令和3）年6月20日発行

監修 飯島武次

編集 角道亮介・鈴木舞・大日方一郎・湯沢丈・菊地大樹

印刷・発行 株式会社外為印刷

〒111-0032 東京都台東区浅草 2-28-31

ISBN 978-4-600-00788-1

 ヒューマンティーズセンター
Humanities Center

东京大学研究合作机构人文中心
LIXIL Ushioda East Asian Humanities Initiative
公募研究 B・国际研讨会项目资金

International Research Conference

秦之渊源 —秦文化研究最前线—

The Origin of the Qin Culture : The Latest Study on the Qin Culture

饭岛武次 监修

角道亮介 铃木舞 大日方一郎 汤泽丈 菊地大树 编辑

株式会社外为印刷 印刷・发行

Supervised by IIJIMA Taketsugu

Edited by KAKUDO Ryosuke, SUZUKI Mai,
OBINATA Ichiro, YUZAWA Takeshi, and KIKUCHI Hiroki

Printing & Publishing GAITAME PRINTING CO., LTD